

なんばパークス

次世代複合緑化都市

緑と光と水が織りなす、未来の街づくり。

大阪なんばの顔として長く親しまれてきた大阪球場跡地に誕生した「なんばパークス」。

昨年10月開業以来わずか半年で1,200万人超の来場者数を誇る、まさに大阪の新名所です。

今回は、太古の地球をイメージした造形をはじめ、屋上公園など、環境との共生を目指した「なんばパークス」の街づくりの魅力に迫ります。



●レポーター 福本聡子

驚きと感動の空間。 巨大渓谷「キャニオン」

南海なんば駅と直結するなんばパークスのメインストリートと
言えば「キャニオンストリート」です。道の両サイドにはキャニオン
(渓谷)がそびえ立ち、心地良い自然光があふれていました。そして大地を侵食した川のなごりを思わせるレインカーテンと呼ばれる水の演出が、優美な情景を描き出しています。さらに夜になると、キャニオンの地層に埋もれた鉱石をイメージしたほのかな光が、まるで水晶のように幻想的に輝きます。このストリートを通り抜けて、つぎは街の中心となる吹き抜け空間「キャニオンコート」へ向いました。

突如出現する、巨大な白いオブジェ、パークスムーンは月をイメージしたなんばパークスのシンボル。時を知らせるサウンドを奏で、夜になれば球面に様々な映像を映し出します。

普段からなんばパークスでショッピングを楽しんだり、フラワーアレンジメント教室やヒーリングサロンに通っている私ですが、改めて、その造形と空間演出をじっくり観察するのは実は今日が初めて！雄大な大自然の息吹きを感じさせる演出効果は、まるで太古の地球へタイムスリップしたかのような神秘的な気分が味わえました。



●屋上公園「パークスガーデン」

●キャニオンストリート



●ショッピング&グルメの店舗



都心のオアシス、 屋上公園「パークスガーデン」

1Fから8Fまで100店舗を超えるショッピング&グルメが楽しめるなんばパークス。館内を歩いていると、いつの間にか緑の丘に出てしまう…そんなユニークな仕掛けで回遊できるのが「パークスガーデン」です。

「最近では屋上緑化が進んでいますが、これほど多くの花と緑を有した商業施設は珍しいと思います」と関係者の方が言われた通り、約1万㎡の丘陵状にゆったりと広がる屋上公園には235種、約4万株の花と緑が生育されているそうです。なんばの真ん中にありながら、四季のうつろいが楽しめるパークスガーデンは、まさに都心のオアシス。人の心を癒すとともに、ヒートアイランド現象の緩和など環境への配慮にも役立っています。

また、画期的な試みとして「アーバンファーム」と言う会員制の菜園があるのも魅力的です。ここでは会員の方々がそれぞれ所有する区画内で季節の野菜を栽培されています。グリーンスタッフによる丁寧な管理が行き届いているので初心者の方でも安心して菜園が楽しめそう。一年ごとに会員募集をされるので、興味のある方は、ホームページなどで情報をチェックされてみるのも良いかもしれません。



●会員制菜園「アーバンファーム」

人と都市と自然が共存する、 成熟した街づくり

かつての大阪球場の賑わいを継承しつつ、屋上公園、商業施設、オフィスビルを一堂に集結して独自のステイタスを確立したなんばパークス。世界的建築家ジョン・ジャーディ氏のその街づくりデザインは、これまで都心では想像できなかった緑と光と水が調和する人と環境にやさしい街を見事に創造しました。

幼い頃からなんばに親しみのある私にとってなんばパークスは、高次元の都市開発として成熟した国際拠点・大阪ミナミを世界にアピールできる自慢の存在です。これからも豊かな緑の杜が人々の心にやすらぎを提供し、複合緑化都市としての様々な取り組みを通して新しい時代を切り拓いていかれることを期待します。

- 交通:「なんばパークス」へは、
大阪市営地下鉄御堂筋線・千日前線・四つ橋線「なんば駅」。
南海電鉄「なんば」駅。
- ホームページ: <http://www.nambaparks.com>
- パークスガーデンホームページ: <http://www.parksgarden.com>



●アクセス・マップ